

お気づき・御感想・御意見等についての回答

・学級通信に特定の子ばかり記載されると不公平さ・偏見を感じざるを得ません。出来の良さ悪さはあると思いますが一人一つぐらいは良いところを見つけて皆さんの良いところを記載して頂きたいです。名前順など明確な手法でも良いと思います。我が家を含め子供も親も通信に載る事を心待ちにしているご家族がいると思います。

・通信等に掲載する際は、御指摘いただいたように、不公平感を与えないよう、細心の注意を払うよう努めていきます。

・夏休みが短くなった件で、それに取組んだ成果を(2学期の欠席者が減ったなど)、数字で表していただけると助かります。真夏の暑い時間帯に下校させる、そのために送迎が必要になるなど、子どもや家庭への負担が大きくなっていると思うので、それでも成果があるなら、と思える結果を示していただけると助かります。

・このような措置は、日課変更と合わせて、町内全小中学校同様に進められてきております。本校としては、夏休みの短縮による数値的な成果等を、今後提示できるよう努めていきます。

・校舎内に誰でも出入りができて、誰が出入りしたかを学校側が把握していない状況は、安全面で少し不安です。

・開かれた学校づくりと同様に、安心・安全な学校づくりも大切な学校運営の1つです。授業参観等以外に、御来校いただく際について、適切な措置を講じていけるよう努めていきます。

・授業参観の際、1クラスあたりの生徒数が多いため、保護者は半分も教室に入れていない状況です。廊下も混雑しており、授業参観の意味を成していないと感じます。2回などに分けて実施することを検討いただきたいと思います。

・授業参観については、教室の後ろのスペースを確保する等の工夫を講じていく、廊下からも観やすくするよう掲示物等の撤去など、対応していくよう努めていきます。

・クラスの人数が多いので、一人ひとりに合った指導ができていないのかと少し気になります。
・洗切だけのことではないと思うが、1クラスの人数が多いクラス、特に低学年、中学年は子ども達にとっても、担任の先生にとっても負担があると感じる。クラスの人数を減らすか、先生の数を増やすかは、その負担が大きく軽減されると思う。

・1学級における児童数の基準は、法で定められております。本校としては、町や県に支援員を含めた職員増員の要望を毎年行っているところです。ただ、県内全域において、教職員不足が深刻な状況でもあります。担任の負担軽減を喫緊の課題として受け止め、そのための時間確保を模索しているところです。それに向けては、日課変更に伴う概要説明の中でも触れております。後日、配付するお知らせを御覧ください。

<日課(時間割)変更の試行案について>

・3学期より、月曜日・水曜日に昼休みがなくなる時間割の試行案について、子どもたちの立場から心配に感じています。どの学年の子どもにとっても、その学年、その友だちと過ごす「今」の時間は非常に大切なものだと思います。特に6年生にとっては、小学校生活最後の一年であり、友だちと過ごす昼休みの時間は、思い出づくりの大切な一部であると感じています。また、12月以降も感染症の影響により学級閉鎖が続く状況の中、PTA本部役員会や評議員会も1月まで中止になっていると聞いています。このような状況では、子どもや保護者の意見を十分に聞く機会が限られているのではないかと感じています。子どもたちの気持ちや学校生活への影響を丁寧に考えていただくためにも、まずは保護者や子どもたちの声をしっかりと聞く機会を設けていただき、今回の時間割の試行については、延期または見直しをご検討いただければ幸いです。

・指導要領改訂に伴う授業時間数の削減には備えるべきだと思うが、試行期間に3学期いっぱいを使うのは疑問が残る。毎日1時間削減と、試行に約2か月。学校側に立って考えても説明ができない。

・この年代の子はコロナや教育方針のなど大変な時期だったので、昼休みや時間割など変わらず過ごしてほしいです。

・給食を食べたあとは、昼休み遊んで帰りたいと寂しそうにしている。

・一番楽しみにしている昼休みが無くなった短くなったととても残念そうにしている、見ていて可哀想に思う。

・日課変更(児童の昼休み縮減)については、2月下旬に全児童によるアンケート調査を行いました。その結果報告、8年度からの新しい日課については、近日中に改めて、お知らせをいたします。この件につきましては、先に行われた育愛会第4回評議員会にて、アンケート結果や学校・町の方針を踏まえた概要説明をさせていただきました。今後も、様々な方面からの御意見を踏まえながら、よりよい学校づくりに繋げていきたいと考えております。御理解・御協力のほど、よろしくお願ひいたします。

・学校のタブレットとの付き合い方に日々悩まされております。必要なことなのか不必要なことなのかこちらで判断できず、家庭でのルール作りが難しいです。メディアコントロール週間との向き合い方も難しいです。

・本校においても、御家庭と学校が協力しながら対応していくべき重要課題の1つとして、捉えております。メディアコントロール週間以外の日常的な取組として、よりよい案を募りながら進めていけるよう努めていきます。

・持ち帰ってくる給食着の洗剤の香りで具合が悪くなります。給食着は希望制にし、エプロン等も認めてほしいです。

・御指摘の件につきましては、個別に対応させていただいております。御相談等ございましたら、学校の方へお問い合わせください。

<学校評価アンケート項目について>

・アンケートの回答候補に「わからない」を追加して欲しいです。
・学校評価アンケートについて、どの設問についても状況がよくわからず一部をみただけでは評価・判断できない設問が多いため、3か2の回答しかできませんでした。きちんと見直していただきたいです。設問の意味や主語が分かりにくく、回答に迷うものが複数あると感じています。これまでも同様の点を何度かお伝えしてきましたが、十分な改善が見られず、残念に思っています。学校評価アンケートは、学校運営や教育活動の改善を目的として実施されるものだと理解しています。その目的に照らすと、設問の意図が分かりにくい場合、回答がばらついたり、本来反映されるべき評価や意見が正確に集まらない可能性があるのではないかと懸念しています。アンケートの目的に合った内容となっているか、設問の表現や構成について一度見直していただき、より分かりやすく、回答しやすい学校評価アンケートを作成・案内していただきたいと考えています。

・前期の学校評価アンケートでの御指摘を受けて、今回は、「ぜひお答えいただきたい」項目と、「分からない場合は選択しなくてもよい」項目を設定しておりました。学校側の事前説明が不十分であったと反省しています。項目や事前説明を、より分かりやすく提示していくよう、改善に努めていきます。

・宿題なしの日が多い印象です。

・自主学習を含めた家庭学習は、貴重な取組の1つと考えております。今後も、御家庭の御協力をいただきながら、子供たちの生きる力に繋がる基礎・基本の学力定着を目指すべく、取組の方法改善等に向けて努めていきます。

・2020年からのコロナ対策としてしてきたことが本当に適切であったか振り返りをしてほしいです。過剰な制限(黙食、マスクの強要、各種イベント自粛等)をして子供の人權を侵害していると思われる様な事も見受けられました。

・コロナ禍を経て、学校内外の行事を精査しながら、それぞれの御家庭における価値の多様化に合わせた対応を心がけているところです。今後もよりよい学校づくりを目指して参ります。様々な御意見を集約し、なるべく多くの方々に御理解・御協力いただける取組を進めていけるよう努めていきます。